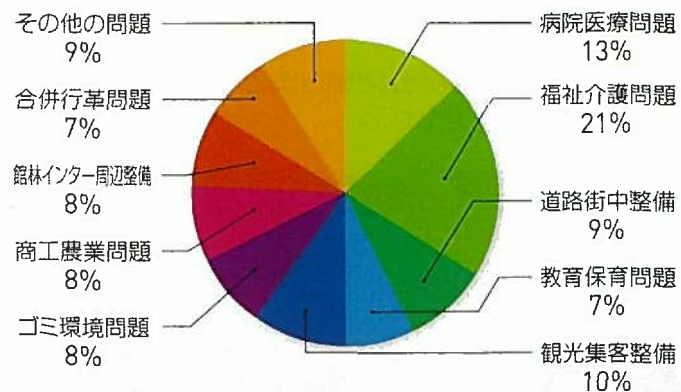


ありがとうございました。 アンケート調査

第6回
R2.9~R2.12
実施

30歳から92歳の方まで、本当に自分の住むまちのことを真剣に考えてご回答をいただきました。
 「市民に密着し、耳を傾ける姿勢を政策に活かしてほしい(50代男性)」
 「一般市民と同じ目線で取り組んでほしい(30代女性)」
 「未来のこどものためにきれいな公園、屋内施設の設置を(30代女性)」
 「現場に足を運び、現場の意見を聞くこと(60代男性)」

※第1回~5回のアンケート結果はホームページをご覧ください。



地元を愛し続けて60年!

これまでの一般質問と今回の一般質問

2017.12.5

- 人口減少対策と多文化共生について
- 県産及び加工品の振興について
- 邑楽・館林地域の道路整備について
- ものづくり人材の育成について
- あおり運転など交通事故防止対策について

2018.9.27

- 児童養護と里親支援について
- はばたけ群馬・県土整備プラン2018-2027における持続可能な地域づくり・まちづくりについて
- 中小企業・小規模事業者の支援拡充について
- 認知症施策の推進について
- 県民の安全を守る取組みについて

2019.9.25

- 外国人との共生について
- 県の医師確保の現状と今後の取組みについて
- 県民の安全を守る取組みについて
- 日本遺産「里沼」について
- 有害物質を含む建設資材(非鉄スラグ)について
- 産業廃棄物不適正処理対策について
- 邑楽・館林地域の道路整備について

2020.9.28

**戦後75年を経た
群馬県遺族の会の現状と
支援について**

**新型コロナウイルスを
契機とした様々な課題と
今後の施策について**

- 障がい者施設における感染症対策の現状と課題について
- 生活福祉基金の特例貸付の状況について
- 県内賃貸住宅の空き家の現状と今後の方針について
- テレワーク社会に即応した良質な居住環境の住宅の活用促進について

外国人との共生について

- コロナ禍における在住外国人の暮らしに対する支援の現状及び今後の方向性について
- 県内の外国人技能実習生の現状と対応について

**道路交通の円滑化と
安全安心な通行について**

- 国道354号館林インター前交差点の課題と今後のあり方について
- 妨害運転(いわゆる「あおり運転」等)に対する県警察の取組について

**特色ある農産品の
拡大に向けて**

- 東毛平坦地における野菜等農産物の鳥獣被害について
- 農業用免税軽油の利用促進について

**消防団確保のための
事業税(県税)の
減税等について**

**食品産業を生かした
産業観光について**

多田よしひろプロフィール

1960年3月11日生・A型
 館林市立第二小学校、第一中学校卒業。佐野日本大学高等学校卒業、日本大学経済学部卒業。
 16年間のサラリーマン生活(シャープ(株))を送る。(株)クリエイティブと創業。
 館林市総合計画審議会委員(市民計画2010)、館林市館林駅東西駅広運路道路整備検討会議会長、青少年センター推進員などの活動を経て、平成18年9月から館林市議会議員(正副議長も歴任)を3期11年務め、平成29年5月から群馬県議会議員。常任委員会では、厚生文化・農林環境の副委員長、産経土木常任委員長。その他、外国人との共生に関する特別委員会副委員長や図書広報副委員長、日台交流議員連盟事務局長なども務める。
 館林商工会議所常議員、邑楽館林農業協同組合員、館林市遺族会副会長、社会福祉法人館邑会(陽光園)理事
 座右の銘は「今日も生涯の一日なり」



多田善洋後援会

〒374-0024 群馬県館林市本町4丁目14番1号 TEL.0276-72-7515 FAX.0276-72-7525
 E-mail:tadanet@nifty.com http://www.tadanet.jp

多田よしひろ 検索
 多田よしひろ 検索 討論資料

ドウ!

2021
春号

行動こそ原点!

群馬県議会議員 多田よしひろの所信と活動報告

平成18年9月(2006年)、館林市議会議員に初当選。支援者の皆様のお力添えのおかげで、みんなが住みたいまちづくりに向け「行動こそ原点」を合言葉に、16年間のサラリーマン生活から館林にすべてをかける決意で政治活動に踏み出しました。

そして平成29年5月(2017年)、群馬県議会議員補欠選挙に当選。さらに平成31年4月、再選させていただき、今日に至っております。これまでの15年近い市議、県議生活において、様々な出来事がありました。館林市においては竜巻被害、国内では東日本大震災や各地の豪雨災害、世界的には現在の「新型コロナウイルス」の発症と感染拡大が挙げられるでしょう。

新型コロナウイルスと「密」

令和元年11月、中国武漢で発生が確認された「新型コロナウイルス」。日本には、昨年1月に感染が確認され、以降、全国の小中高校、特別支援学校に臨時休校が要請されました。卒業式、入学式などと期間も重なり、児童・生徒はもとより、保護者の方々を始め、家庭、学校関係者のご苦労も大変だったと思います。また、県内における感染者は、令和2年3月7日に1例目が確認されて以降、感染者集団なども度々発生し、今も増加し続けております。感染されたご本人、また、そのご家族のご心痛をお察しいたしますとともに、長期間にわたる医療関係者の皆様の献身的な検査、治療など誠に過酷な医療業務に衷心より敬意と感謝を申し上げます。一方、このような皆様に対して、いわれない偏見や差別、誹謗中傷などを行う事案が発生しております。誠に悲しく許されるものではございません。
 令和2年を表す漢字に「密」が選ばれました。3密を防ぐという意味もありますが、現在の危機を乗り越えるためにも、人と人とのつながりを大切にす親密という意味もあります。そして、今年も感染予防と拡大を防ぐための日常生活の見直しや外出の機会も慎重に行うことを心掛けたいものです。



一般質問で問う

令和2年9月28日、県議会議員として4回目の一般質問を行いました。新型コロナウイルス問題はもとより、館林市の将来に向けたまちづくり関係の質問です。まず、障がい者施設における感染症対策の現状と課題やコロナ禍による生活福祉基金の特例貸付状況について、県内賃貸住宅の空き家の現状と配慮を必要とする人々への促進計画について。3密を防ぐためのテレワークに即応した居住環境のアピールについて。コロナ禍における在住外国人への支援と技能実習生への影響についてなど、生活弱者と言われる人々への現状と対策、支援についての質問です。また、館林インターチェンジ前交差点の今後のあり方や、邑楽館林地域の野菜等への鳥獣被害対策と農業用免税軽油の利用促進、食品産業を活かした産業観光など、邑楽館林の強みを生かすために県の考えを問いました。

原点に戻って、次世代のために『対話・協働・行動』で

館林市は、歴史と文化、自然と人情の残るまちです。それは、郷土の先人たちが苦勞を重ねて築いてきてくれたからです。冒頭述べ

した大きな災害をはじめ、様々な問題を周辺の自治体と協議し、市民との対話によって乗り越えてきました。今後は、館林邑楽地域の中心市として「魅力・活力・協力」によって次世代のために「行動こそ原点」を合言葉に、これまで以上に精進してまいります。そのためにも、まず「新型コロナウイルス」の終息に向けて最大限の努力を傾注するとともに、終息後の活力を復活させるための構想も練ってまいります。

多田善洋



県議会常任委員会・特別委員会 議員連盟・地元での活動

産経土木常任委員長や図書広報委員会副委員長、行財政改革委員として、委員会の円滑な運営と県政の情報発信に努めました。また、県有施設の在り方については、県民目線と行財政の両面から提言をしました。



多くの事業所を訪問し、感染症対策と経済対策を説明させていただきました。国の緊急事態宣言解除後、**持続化給付金や雇用調整助成金の相談会場**にて(2020.5 館林商工会議所にて)



日台交流議員連盟事務局長として台中市を視察し、先進的コロナ対策対応等を勉強(2020.2)。文化交流や観光・貿易などの経済交流を始め、12月15日の県議会で「**台湾の世界保健機関(WHO)へのオブザーバー参加を求める意見書**」を全会一致で可決することができました。

どんど焼き

400年の歴史を誇る堀工町の「どんど焼き」。皆さんの健康とご多幸を祈りました(2020.1)



父の遺志を継いで

館林駅西口広場での館林中央ライオンズクラブの樹木贈呈式典に出席。亡き父の手がけた事業であり、形見の背広を着て「ヤマボウシ」を植えさせて頂く。夏に木陰となって、お役に立てれば父も本望でしょう(2020.3)



寒いなか ありがとうございました

多田善洋後援会の総会を開催。新型コロナウイルスの県内感染者数が増加。県の警戒度が4に上がった直後であり、室内で開催する予定を急ぎ、屋外で総会資料の配付と短時間での対話形式に変更しました。近接の町長さんも顔を見せてくれるなど、形式的な会合では味わえない親近感も生まれました(2020.12)



3月に**板倉キャンパスを移転**する方針を表明した東洋大学の安斎理事長を県議会議長らと訪問。地元の要望を伝え誠意ある対応を求めました(2020.7)

活動の報告 2020年

新型コロナウイルスの感染拡大は世界中を震撼させています。感染防止のための取り組みと過酷な医療現場の実態、勤務形態や商業店舗などの変化。営業時間短縮や不要不急の外出を控えるなど、感染拡大防止に懸命に取り組むなかで、感染者数の増減に一喜一憂をする毎日が続いています。このようななかで、人々の暮らしを支え、経済状況の落ち込みを少しでも減らせるように努めた一年でした。



多くの方々に好評

新型コロナウイルス感染拡大により生活資金や事業活動に影響を受けた方々に各種相談や支援、融資の感染症対策の流れを簡潔にして発行。感謝の言葉をいただくことができました(2020.4.28 現在版)



図書広報委員会副委員長としてお薦めする「**渋沢栄一**」。今年のNHK大河ドラマで我が国の資本主義の父と言われる**渋沢栄一**を主人公にした「**青天を衝け**」が始まります。**混迷する現在社会への福音となれば幸いです**(2020.7)



一方、(仮称)日本先端大学設置準備委員会に**新大学構想の動き**が。その準備委員の西和彦氏(米マイクロソフト社副社長歴任)と情報交換を交わすこともでき、一筋の光明が見えた感がありました(2020.8)



産経土木常任委員会の県内視察。正田記念館、日清ミュージアム、板倉ニュータウンなどを視察。**食品産業が館林市の発展に寄与したことを実感していただきました**(2020.9 正田醤油本社にて)

熱気を感じて

新型コロナウイルスの感染防止に配慮した恒例の「**県政活動報告会**」。県の事業や予算など根幹となる説明と新型コロナウイルス感染防止や医療現場、事業所への補助、給付金などの補正予算など、県政の動きを報告しました。客席は定員の半数に制限されたが、熱気が伝わってきました(2020.10)



一次産業も頑張れ

野菜農家の皆さんもコロナに負けずに頑張ってます。応援します!



鶴生田川親水大作戦

春秋の花の植え替え作業には、「**まち研メンバー**」として毎年参加します。

